

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 7月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	残留熱除去機器冷却海水系ポンプ(B)の点検において、シャフト下部の腐食によりインペラ(羽根車)を正しく固定できないことが認められたため、当該箇所を交換。	GⅢ	7月20日
2	1号機	残留熱除去系圧力抑制室側吸込弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	7月20日
3	4号機	復水補給水系原子炉圧力容器/原子炉格納容器注水流量指示計点検において、精度外(指示精度±5m <sup>3</sup> /hに対し、最大誤差-16.5m <sup>3</sup> /h)が認められたため、当該流量指示計を交換。 なお、当該計器は原子炉水位の低下による水の補給を行う判断のために用いており、復水補給水系の運用に影響はない。	GⅢ	7月20日
4	4号機	復水補給水系注水流量指示計点検において、精度外(指示精度±2.2m <sup>3</sup> /hに対し、最大誤差-14.5m <sup>3</sup> /h)が認められたため、当該流量指示計を点検・修理。 なお、当該計器は廃止措置により今後使用しないため、不適合グレードは対象外と判断。	対象外	7月20日
5	3・4号廃棄物処理設備	4号機廃棄物処理建屋北側トレンチ内スチームドレン系サンプ液位検出スイッチにおいて、動作不良(廃液がサンプから溢れる前に液位高警報発生せず)が認められたため、当該液位検出スイッチを点検・修理。 なお、仮設ポンプにてサンプの排水を実施していることから、サンプの排水に影響はない。	GⅢ	7月20日